

あしや

第
4
號

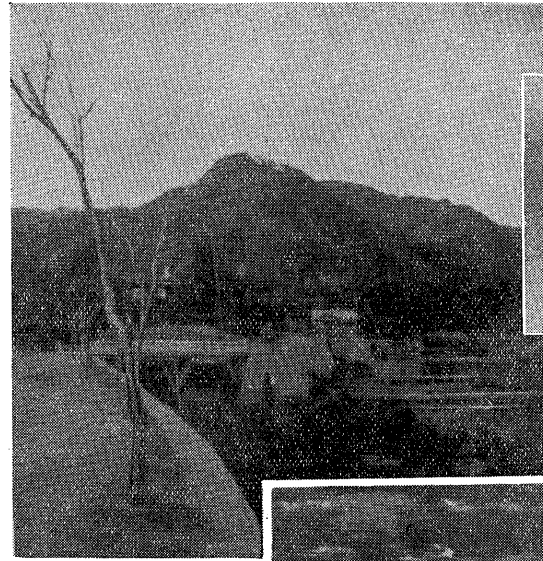


陸

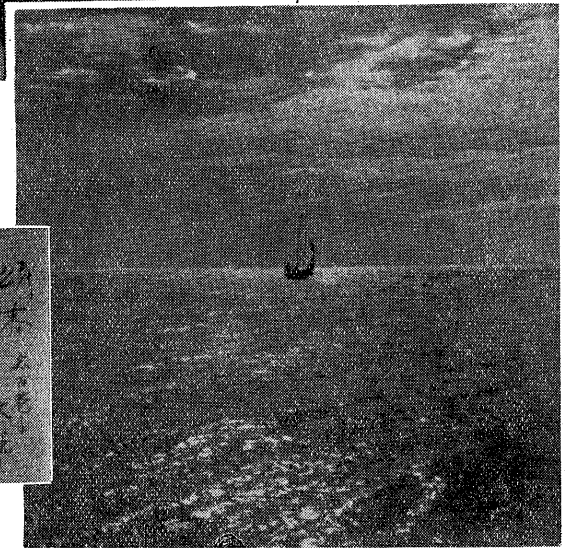
頒價10エン

芦屋市の風景を讃えて

新春ものした猿丸市長の俳句



猿丸市長
大初日を
山に用敷
大生



白鳥
大生



月若橋 (芦屋風景)

市制施行十周年
意義ふかき年の始めに
芦屋市長 猿丸吉左工門

○……本年は、二十世紀の前半を終る年であり、同時に本市としても市制施行十周年に当る意義ふかい年であります。この輝しい新春を市民の皆さまと共に迎えることが出来たことは、まことに御同慶に堪えません。

○……『温古知新』という言葉があります。古きをたづね新らしきを知るといふこの言葉は、年の始めに当つて、よく私共の脳裡に閃く言葉であります。平凡ではありますが眞理を含んでおります。この『温古知新』を行政上のひとつの指針として、市政各段に活かして参りたいと存じます。

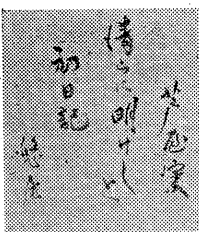
○……また、『忘己利他これ慈悲の極』という傳教大師の言葉があります。崇高なる忘我の精神を念頭に刻み込んで、仕事に全力を傾注いたしたい。

○……市民各位におかれても、市の現状に思いをいたされ、この上ながら絶大なる御協力と御支援をお願いいたします。

○……以上、いささか所懐の一端を述べて年頭の御挨拶といたします。

今年こそは経済振興、文化昂揚の年

兵庫縣知事 岸 田 幸 雄



兵

庫縣民三百十五万
の皆さん、明けま
してお目出度うございます
皆さんと共にこの希望にみ

ち溢れた年を迎え得たことを幸に存じます。

皆さん、愈々本年は國民の待望久しきに互る講
和会議が開催されるという朗報を耳にいたしま
す。新年早々寔に縁起のよい、耳よりなお話であ
りまして今こうして神戸諏訪山の麓、縣廳の廳舎
の窓から遙かに見はるかすちぬの海神戸の港が出
船入船の賑やかな昔の姿に、たちかえるのかと思
うと嬉しさ喜ばしさが胸中に込みあげて来て、自
ら微笑ましくなつてくるのであります。

皆

さん、兵庫縣の廣大なる地域と縣民諸君
の勤勉にして、然も濃やかな人情、勝れ
た能力とは、縣内農水産物林産を初とし各種の工
業製品が極めて豊富であつて、日本經濟の中核と
申してもよい理想郷であります。そこで私は先ず
神戸港の拡張充實をはかり、或は外客誘致のホテ
ルを整え、或は詩と夢の島淡路を中心とする觀光
施設の充實などこの山野を、いやが上にも開発し
てゆきたいと考えている次第であり、造船、製鉄、
ゴム、繊維、マッチなどの大工業はもとより、中小
企業の振興を図るために資金資材、或は技術のサ
ービスに努めるのみならず、本年春は日本産業貿
易博覽会を神戸市に開催するなど何れもこの施策

の一端であります。また六甲山開発のドライブウ
エーの建設や、縣内各河川の改修も続いて行われ
まするし、各種の公共事業を起して國民生活の安
定向上に邁進致す次第であります。

分

けて終戦以來兵庫縣下十八万戸の農家の
皆さんが、労力と資材不足の中をよく努
めて米や麦の主食の生産と供出に協力せられ、こ
れあるによつて、終戦後の食糧難の時期に於ても
本縣は食糧の運配欠配もなく、切り抜け得たので
ありまして、農家皆様のこの尊い努力、この温か
い同胞愛の友情に対しては將來に亘つて永く消費
者の感謝感銘致して居るところであります。然し
世界の經濟狀勢は、時々刻々に変化しやがて農業
經營に一大轉換が行われるべき時期に当面してい
るのではないかと思ひます。農民諸君は眼を廣く
海外に馳せ、農業經營の計画は國際經濟に對應し
て行い、從來の米麦の單作農業より脱却し煙草、

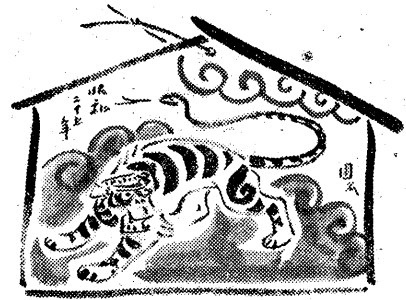
北

の方但馬連山の白雪や、或は須磨の浦曲
に寄せては返えず大波小波は平和郷、産
業兵庫縣の前途を壽ぎ、いかにも新日本の曙を象
徴するかのようであります。皆さん、今年こそは
經濟振興の年、文化昂揚の年として三百十五万縣
民がガッチリとスクラムを組んで立ちあがるべき
年であります。私がこの輝しい昭和二十五年の新
春劈頭にあたつて縣民諸君の奮起を切に御願
いする所以はここにあるのであります。
さあ皆さん、平和兵庫、産業兵庫、文化兵庫建
設のために大いに邁進いたしましたしよう。

カット寫眞は岸田知事の俳句 (悠庵は俳句)

芦屋弁慶の悲歌

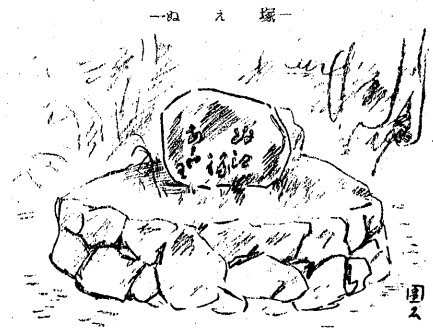
七不思議の龍燈、海鳴など



◇芦屋の住人が芦屋の名所を探る。ちようど自分で自分の胎内を見て廻るような氣がする。愈々出奔。さて柴谷宰二郎画伯

それに松岡田中木田の諸君、僕を加えた五人がこの十個の靴型を先づどのへんから印し付けようかと考える。氣が付くと今芦屋川の遊園を歩いているのだから其儘ここから始めることにした。自然発生的というところであろう。

◇元來芦屋は阪神各地が大旨をうであるように北の六甲地壘から押出した土砂が海を埋めてつくつた扇狀地である。古代此方、頻々たる大小の洪水の爲に住民は慘酷無慈悲な災禍にあつてゐる。古記は元より實際に歴々と指すことが出来る。裏返せば同時にこれが土地形成の母の如き創造力であつた。久しい間このようにして大自然と人間との対決が常に繰返さ



れたのである。川底がせり上つて天上川にしてしまつた跡をみると判るが、僕は此地の先人が治水に刻苦してきた其恩頼を思い、改めて脱帽しなければならぬ。一口に白砂青松と言うが中々のことである。今日、もはや自然と人間とは格闘せず豊かに抱合つてゐるのを感じる。じつに美しい風景である。

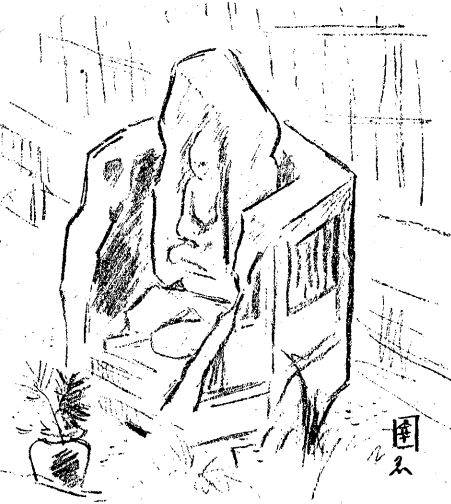
然し乍らこの美しさは瞬間的なものであろうか。僕は知らない。ともあれ一般住民の生活史に直結して来ただけ何となく芦

屋川及び遊園地は市内第一の名勝史蹟であるような氣がするのである。

自然の根元的な活動から見ると小さく感じられるけれど、鷹尾城の細川高國方と淡路から上つた細川澄元方の軍勢とが永正八年七月二十七日芦屋河原に会戦している。此時淡路勢は百余人討死し辛うじて退却した。地点は業平橋辺乃至其以北と推定してよいであろう。

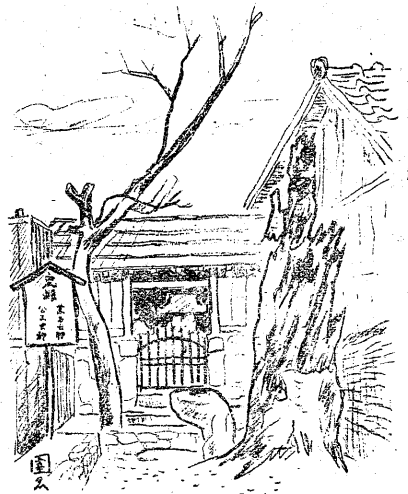
◇芦屋川には史蹟や傳説を表した名の橋がいくつか架つてゐる。橋は風景的に見て單調な河川にアクセントを附けたような効果がある。芦屋の永い人文史の流を一本の川に譬えるならば橋銘に讀まれる所のものはまた歴史の中に隆起したいくつかのアクセントだといつてよいであろう

◇一番川下にあつて平田町から運動場へ向つて架つてゐるのを鶴塚橋といふ。抑鶴とは顔は猿で胴が虎、尾は蛇となつてうねり、尾端の蛇の口から火炎の如き舌を吐いてゐる化け物である。陰氣な声が鶴の鳴くのに似てゐる所から鶴とよばれた。鳥の類



ではないのである。時は近衛天皇の御代、この化け物が京都の東三條の森から夜な夜なざざつと黒雲を巻き起して飛び來り天皇の寢殿の上に現れてお悩ませしたのである。これを源三位頼政が庭前へ射落し從者の猪早太が躍りかかつて虎部の胸元に止めを刺した。偕て鶴の骸は鱗にのせて淀川より流したが是が芦屋浦へ漂着し土地の人が埋めて鶴塚と言ふとする傳説なのである。これをキングゴングが虎の皮のお腹をしてアバレて出た位に思つたら大分訳がちがう。とつても怖ろしいのである。平家物語、本朝通鑑、謡曲鶴などには僕らが是非怖がらねばならぬように書いてある。芦屋に漂着したことはこの謡曲始め、其他古い地志類にも載せられてゐる。当時こんな口碑があつたものらしい。なお同名の塚は他地方にも一二ある。

次に塚の傳唱地点は諸書みな違つてゐる。此橋詰のは仮説しただけで(微かな説はあるが首肯できぬ)やはり一部の古老の言うように公光町一及び一ノ一の大神宮跡とするのが妥



當のようである。四孟の支神を並べたあたりこの説

話には古い中華の讖緯説の影響が強いと思われる。これを解析すれば菅屋の史料に何者かを加えることも可能な筈である。此予見は紙数が乏しいために今は書けない。

◇鶴塚橋を渡つてみる。橋上から冬の海が呼べば應える近くに見えている。柴谷画伯は今し方鶴を生捕りにしたスケッチ帖を隠しに納め納め歩いて、海への僕の視界を一瞬横切つた。西行法師の山家集に「波高き菅屋の沖を帰るふねの事なくて世を過ぎむとぞおもふ」とある沖はさきようは鶴かにひかつている。鈍い色した菅屋海岸を見ていると、鎌倉時代の昔義経弁慶らが大物浦から舟で来てこの浜に上り國司菅屋三郎光重

と戦はねばならなかつた謡曲菅屋弁慶の筋が悲歌の如く思い浮べられるのである。菅屋の七不思議のうち、沖の龍燈、海鳴などはこの海のものである。前者は貝原益軒の扶桑記勝(巻三)も採り上げているところである。

◇阪神電車の鉄橋の北、警察署の側に架つてゐるのは公光橋である。公光とは人名、遺蹟はここからは北方の月若町二八の地域にあるのである。道の北側に可愛い石の祠が祭られてゐる。表に業平大神、公光大神と刻んだ石柱があつてすぐ判る。昔は「家敷の神様」と言つたりして小兒の瘡を祈りに人が詣つていた。公光は謡曲雲林院に現るのである。公光は昔の在原業平に無限の憧憬を寄せていて遂に菅屋の屋敷を立ち出でて都の雲林院をおとづれる。業平の霊がこの熱意に感應して顯れ伊勢物語の秘事を傳えると言ふ筋である。この謡曲の道行文はたいへん美しく書かれてゐる。

公光に関して他には徵証を求められないが、連綿として遺跡が保存されてきたことを思えば恐らく当時郷党から相当な尊敬をうけていた文学者のな床しい一人物があつて、都へも上つたであろう。それが謡曲作者のモデルとなつたものか知れぬ。故福原山下山人は雑誌郊外生活(大正四)に公光の子孫として山村姓を挙げている。ここに面白いのは業平と公光との二者の印象が混乱することである。附近の人に会つて話していると二つの識別の線が殆どなくなつてしまふ。大正年

代、其頃まだ公光祠の後には密接して幅二尺余りの東西の小径があつた。是を指して業平が此屋敷から通つた道だと聞かされたこともある。ざつとこんな具合である。なお猿丸大夫と業平とも稱津志に「行平業平毎以官暇與朋友數輩遊干此見伊勢談土人以其宅址曰猿丸大夫第」とあつて当時既にここにも混乱の形がみえる。こんな風な混乱の形が現在の口碑や立札の文字の上にそつくり保存されてゐるのに接するのである。別な視角からは、例へば其一つとして、民族学的方法などで混同、そのことに種々な意味の資料を見るであらうから、一面このまま、整理されたくないものように思はれる。

高崎正秀氏は「物語文学序説」で業平猿丸に就いて、特に菅屋の名を挙げてこの課題に触れている位である。公光祠の祭りは例年十月十六日に行つてゐると言ふ。

◇橋の順で行けば次が業平橋である。同時にここは「市民のうた」に「國道に光るかせ 潮騒にうるむ街 あしや」と美しく歌はれた新



— 天然記念物・六甲くらがねもら —

國道でもある。昔の往還に當つてゐるが、大正の始にはまた橋すらなかつた。或はその以前にべこべこ橋があつて出水に流れたのかもしれない。此街道關係に就いて今珍しいものを一つだけ代表的に挙げる。赤穂四十七士の大高源吾(子葉)に丁丑紀行と言ふ手記がある。丁丑といへば討入の五年前。江戸からの帰國に際しここを過ぎるのである。「文月二十三日 郡山ノ御ヤドリヲ朝マダキ出デ行ク、西ノ宮ヲコエテ一里許リアツテ右ノ山ノ端ニ石ノ花表見ユル、猿丸大夫ノ宮ナリケリ、サバカリノ人ト思ヘバ口ゴモリテ、猿丸へ手向

け申さん木の實なり」御ヤドリといつてゐるのは主君淺野侯に扈從してゐたからである。いまはジイアが走つてゐる。

◇橋そのものは新國道にあるが、其名である在原業平の遺跡という和省線の傍になる。傳唱業平の屋敷跡は明治年代に鉄道が布設されるに際して、まん悪く路線にかかつて取り壊したといふことである。それは旧字、平足であつて現在の改正地名でゆけば業平町六一を中心とする地域と推察される。ここまで来て今日の一行五名が佇立すると申合せたように、一齊にきよんとした。此処は業平だと言うので勢い込んだ筈が、そして画伯はスケッチ帖を構えた筈が、偕て業平を標識した記念のいかなる木石もなく、眼のもつてゆき所を知らない始末だからであつた。何かへ墜落したような遺蹟なきである。そこで同じ地域の因縁を以て、路ばたの小さい石の佛様に、業平探訪の目的を御預り願つたのである。これは松岡君の発意だつた。佛様がスケッチされたにはこんな縁起があるのである。

業平が無関心であるのは何とさつぱりしたことである。文化は余りさつぱりしてると種を下す場所を失うであろう。いまのうちだ。芦屋の名所中の珠玉と言うべき業平の遺跡には、是非ひとつ文化都市芦屋の名に於いて石のモニュメントが建設されねばならぬのではあるまいか。

芦屋の名所全体を具さにひろえば殆んど業平というものに

代僕が調査したときには古老から賽神が其屋敷跡だと教えられたのであつた。武庫郡誌(大正一〇)も、芦屋商工誌(昭和七)に書いた加藤義一氏もこの賽神を挙げている。現在改めて芦屋生れの人達に問い最後に此場所に近い俳人神井漱水君にも聞いて見たがみな同じ答を得る。賽神のあつた位置は現在の西芦屋町一二に当るのである。併し公光の邸は壯大なものと傳えられてゐるから、見当は右の如くとしてもずつと拡張して考へて見なければなるまい。

この傳説は謡曲藤栄に出てゐる。芦屋藤左衛門家俊の子の月若が伯父藤栄に七百余町の家領を横奪され其上追放される。孤獨となつて艱難するうち北條時頼に訴へて、遂に月若に所領安堵を命ぜられるという筋である。

この藤栄の悪逆無道振と驕奢の事実とに擬して作られたのが芦屋道満大内鑑の戯曲であり鷹尾城を道満の館趾だと誤つて言うものもあるようになったと、是は故会下山人の説く所である。次に文化年間の「あしかり草紙」という小説には此藤栄が打出の金津丘から黄金を盗掘したり種々の悪事をする。摩耶山の墨狐が出てきて更にこれを悩すことなどが物語られてゐる由である。僕には未見の本であるから書名を挙げておくだけしか仕方がない。

◇大体これは橋を目標として其名に因んだ名所を書いてきた。所が以上でそう言う橋は全部渡り終つたように思える。併しまた時間があるので、ここに芦屋川を離れて十個の靴を報恩

開運をもつてくるのである。これはどういふことを意味するであろうか。思うにこの状を呈するのは、かようなひろがり根の深さにまで、この人物の傳唱を生長させ、更に世々これを自分のものとし、尊敬し、山川とともに愛しつづけてきた住民自体の意志があつたからである。其最も上昇したかたちを「公光」に於てみる。何という平和なころの郷土だつただろう。僕が芦屋の名所中の珠玉と業平を言つたのは此意味に於いてである。芦屋の先人のこの美しき遺志は絶やすべきでない。忘却すべきではないであらう。

◇佛教會館のすぐ北、舊宇苅屋、今の月若町六一、六二附近(少し北寄りだつたかも知れぬ)を指して昔、年々螢合戦のあつた所と言う。記憶によると以前はあのへん濕地があつた。この螢を里人は業平の靈と稱するのである。芦屋七不思議の一つにはいつていた。芦屋に螢を言うことは業平の芦屋の歌が其源流をなすものである。藤原定家其他の歌に芦屋の螢を詠んでゐるのも業平の詠作に拠つてゐる訳である。

◇此処から少し北、阪急の一つ南の橋が月若橋である。月若は人名。此屋敷跡傳唱の地点には僕はたいへん難澁したのであるが、攝津名所図會の中で「公光第」を説明するのに「月若が古跡に隣る」とあるのである。だから逆に言えば月若は公光の隣りだと言ふことになる。併し隣りといつても現代の感覺通りに一概に軒を並べてゐるとも解し切れない。大正年

寺跡へ向けることにする。二十の扉みたに今度は植物である。珍らしい巨樹だと言うので天然記念物に指定されている名物のクロガネモチを見に行くのである。地点は西山町一三三。これを史蹟的に言へば報恩寺跡だが、現実には栃木氏邸内である。当のクロガネモチは林泉の東寄りにある。目通幹囲三・五米、直幹屹立高さ二〇米と書いた説明札が庭に見かけられた。この樹は遙か天辺だけに枝葉の茂みをかたまらせて、それから下は、すつばだかの幹がすばつと眼も醒めるばかりにのびて、土に到つてゐるのである。其高く巨大なさまは樹木と言うより、もはや大自然の一部という感じである。根元へ近寄つてゆくにもへんにじつて行くような氣合になつてしまふ。そして五人のうちの話声も何だか調子がひつそりしてゐる。めのまえの巨大な物からくる心的活動の制約が相当強く利いてゐる結果なのであらう。なんと日頃の常識を一瞬につき破つてしまわれたのである。

大体ここは大樹の多い森で、以前若宮や業平が寄進したなどと言う藥師堂のあつたところである。クロガネモチの西には、大正の頃まだ若宮の神殿跡だという土壇が残つてゐた。さらに遡るとここをも含めて東は殆んど芦屋川まで北は鷹尾の麓近く南は省線までを寺内にもつた報恩寺があつたのである。きよは報恩寺の古瓦を栃木氏が見せて下さつたのは時にとつて嬉しいことであつた。偕て出口へきた時ふりかえり指を僕の眼玉にひつつけて巨樹を測つてみたら、たつた二寸の間にはいつてしまつた。笑つたのである。(つづく)

住みよい芦屋市を建設



希望に満ちた一九五〇年の新春を迎えて感新らたなるものがあります。文化都市芦屋を再建し、天下に冠たる観光都市を創造してゆくと、なすべき仕事は山ほどあります。

シヤープ勧告にもとづく税制改革により、市町村の財政状態は若干豊かになると思はれますが、市民の担税力には限度があり、税金にのみ依存するわけには参らないのであります。

そこで、市民が経済的に起ち上る時期までは努めて借金政策をとつて市民の租税負担の軽減をはかりたいと存じます。しかし、市民の福利増進のため必要なることは、どしどし実施に移す考へであります。

芦屋市助役 丹原 実

戦災 学校の復旧、新制中学の建設等、教育の面は大體見透しがつき、今月中に着工する運びとなつたので、今後は戦災者住宅の問題をはじめ、戦災地の清掃整頓、道路の復旧改善美化に努力し、可及的速やかに戦前の芦屋に立ち返るよう計画の実現を期しております。

つぎに、今年こそ市民病院、市民プール、中央卸売市場、商工会議所の設立を促進し、更に庶民住宅、分譲住宅、鉄筋アパートの建設にも努力をいたしたいと存じます。

要は、猿丸市長の抱負実現につとめ、公約実現の一日も速やかならんことを念願しております。

市民 各位の絶大なる御支援を切にお願いいたします。

鼎談会 記 録

- ◇とき 一月十日午後二時―五時
- ◇ところ 市役所市長室
- ◇出席者 富田碎花氏(詩人)
桑原石居氏(俳人)
丹羽安喜子夫人(歌人)
- (市側)松岡弘報主任、田中書記、木田書記

『芦屋マダム』の由来

名士雲のごとく集る

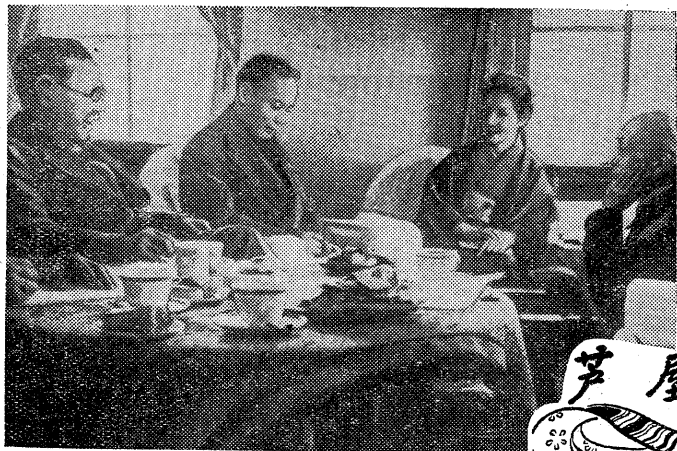
◎芦屋の昔話

松岡 今日はお寒い中をわざわざお出で下さつてありがとうございます。まだ御婦人の方がお見えになつていませんが、ぼつぼつ御始め下さつては――

桑原 明治三十九年頃は、この市役所の南の方に有名な赤松が生えていた。

当時は、狸が住んで居り、また、五位鷲がその松の枝に巢を作つていた。月見の晩には、一枚十銭で籠を借りて、お月見をする人が多かつた。

現在の阪神芦屋駅附近から、山手一帯まで家は少なく見晴しがよかつた。その頃は地代も安かつた。郵便局の裏あ



(写真左から) 富田碎花氏・松岡弘報主任
丹羽安喜子夫人・桑原石居氏



たりせ、坪一円五十銭くらい、明治末期で三円五十銭位であつたが、大正の初期には五十何円であつた。

富田 阪神電車の芦屋駅を降りると、松の香がふんとしてきた。

桑原 芦屋川の、丁度ここの西の辺りに、当時、稻荷さんがあつた。大正二年頃には、松林から松露が出た。その松露を一合十銭で売つたものです。

桑原 大正四年頃、芦屋郵便局が西宮より早く一等郵便局となつた。西芦屋のあたりに、あかしの場或は涼み塚、打出に、こうがい塚があつた。

前田交番所附近の井戸を掘つた時、九尺程は陸の地質で、それから下は海の地質であつた。

富田 打出の海水浴場の方が有名であつた。小田金二氏が浪花節の前身、祭文節で宣傳した。

桑原 芦屋には歌はなかつたようだ。大體、伊勢音頭を主に歌つていた。

丹羽夫人（出席）

富田 鼎談式にやつてはどうか。

◎芦屋マダムはダンスから

松岡 丹羽夫人がお見へになつたので、「芦屋婦人」についてお話願いたい。過去、現在、未來とわけて――

富田 俗にいわれる「アシャマダム」か。（爆笑）

桑原 出双庖丁に組板……

丹羽 文藝、生活方面でしようか。

富田 一般に言われる「アシャマダム」と云う言葉は、良い面と悪い面に云われるが……市民にとつてはこの言葉には、不服の点がある。

松岡 「アシャマダム」の言葉の由来について……

丹羽 大正九年、十年頃、初めて「なのりそ会」が始められた。この「なのりそ会」は戦争が起る前まで続いた。

松岡 当時のメンバーは。

丹羽 松岡潤吉氏夫人の千恵子さん。山本発次郎氏夫人花子さん。山口吉郎兵衛氏夫人のちか子さん。山口謙四郎氏夫人雅子さん。細見氏夫人の幸子さん。藤原義江氏夫人（當時は宮下医学博士夫人）のあき子さん。清瀬一郎氏夫人ひな子さん。

松岡 芦屋在住の方ばかりでしたか。

丹羽 非常に眞面目な会で大阪から知名の士がきて講演して下さいました。毎日新聞、朝日新聞の方も來られた。上流婦人はよく勉強された。特に、松岡夫人は語学を勉強し、清瀬夫人、宮下夫人も大いに勉強されていた。谷崎潤一郎氏に講演をお願いしたところ、講演せずに、雑談だけで、

お帰へりになつたこともある。季候のよい時は社会見学の

ために京都辺りまで往つた。京大の中村正勝博士も來られて講演された。

それから後に、芦屋婦人会の文学好きの方で、紫絃社が出來た。丁度大正九年頃であつた。この紫絃社は、與謝野晶子さんに短歌の添削をして貰つた。一年ばかりで終つたが、私だけが一人残つて、與謝野さんに喜ばれました。この会には、松岡潤吉氏夫人、小林三三氏夫人等も入つていらつしやつた。

その頃はまだ芦屋マダムの名はなかつた。大正末期になつて「なのりそ会」は益々盛んになつた。賀川豊彦氏等も講演に來られた。

この頃から、ゴルフが流行し始め、また一方六甲のホテルなどでダンスも華やかに行はれた。それから芦屋マダムの名が起つたのだと思います。

富田 阪神電車の乗客で服裝の一段と立派な人は、たいてい芦屋人であつた。大體芦屋マダムと呼ばれ出したのは丸尾長顯が「芦屋マダム」を主人公とした小説を書き、それから歪められた概念ができた。またその頃丁度起つた労働運動の影響から、階級的反感によつて有閑マダムという風に印象づけられ、ジャーナリズムの目標になつた。

桑原 婦人公論の記者が乗り込んで來たりしてジャーナリズ

ムに狙はれた。

富田 当時のきわだつた美人は誰方でしょう。

桑原 上野精一氏夫人でしょう。暗闇でも歩き方が違うのでよくわかつた。出色の婦人だつた。

丹羽 おきれいな方が多かつたです。

桑原 清瀬夫人もきれいだつた。外出には全部、平常着では外出しなかつた。

丹羽 宮下あき子夫人（今の藤原義江氏夫人）は美しい方であつた。おきれいすぎて問題となつたが、家出したのはその當時だつた。

富田 芦屋で家出された。音楽会に花束を持つてゆかれたりして藤原氏と結ばれた。

桑原 長唄の先生と妙なことになつた人もあつた。しかし、いろんなことがあつたにしても、現代の人に比べたらあの頃の方がましだつた。

富田 日本的ですつさりとしていた。あかぬけがしていた。

◎文藝方面について

松岡 では文藝方面では……

丹羽 紫絃社をつぶれた後に、高安夫人が「あららぎ」に入つて勉強をはじめた。「あららぎ」では高安夫人、紫絃社

たりで、坪一円五十銭くらい、明治末期で三円五十銭位であつたが、大正の初期には五十何円であつた。

富田 阪神電車の芦屋駅を降りると、松の香がふんとしてきた。

桑原 芦屋川の、丁度この西の辺りに、当時、稻荷さんがあつた。大正二年頃には、松林から松露が出た。その松露を一合十銭で売つたものです。

桑原 大正四年頃、芦屋郵便局が西宮より早く一等郵便局となつた。西芦屋のあたりに、あかしの場或は涼み塚、打出に、こうがい塚があつた。

前田交番所附近の井戸を掘つた時、九尺程は陸の地質で、それから下は海の地質であつた。

富田 打出の海水浴場の方が有名であつた。小田金二氏が浪花節の前身、祭文節で宣傳した。

桑原 芦屋には歌はなかつたようだ。大體、伊勢音頭を主に歌つていた。

丹羽夫人（出席）

富田 鼎談式にやつてはどうか。

◎芦屋マダムはダンスから

松岡 丹羽夫人がお見へになつたので、「芦屋婦人」についてお話願いたい。過去、現在、未來とわけて――

富田 俗にいわれる「アシャマダム」か。（爆笑）

桑原 出刃庖丁に組板……

丹羽 文藝、生活方面でしょうか。

富田 一般に言われる「アシャマダム」と云う言葉は、良い面と悪い面に云われるが……市民にとつてはこの言葉には、不服の点がある。

松岡 「アシャマダム」の言葉の由来について……

丹羽 大正九年、十年頃、初めて「なのりそ会」が始められた。この「なのりそ会」は戦争が起る前まで続いた。

松岡 当時のメンバーは。

丹羽 松岡潤吉氏夫人の千恵子さん。山本発次郎氏夫人花子さん。山口吉郎兵衛氏夫人のちか子さん。山口謙四郎氏夫人雅子さん。細見氏夫人の幸子さん。藤原義江氏夫人（當時は宮下医学博士夫人）のあき子さん。清瀬一郎氏夫人ひな子さん。

松岡 芦屋在住の方がかりでしたか。

丹羽 非常に眞面目な会で大阪から知名の士がきて講演して下さいました。毎日新聞、朝日新聞の方も來られた。上流婦人はよく勉強された。特に、松岡夫人は語学を勉強し、清瀬夫人、宮下夫人も大いに勉強されていた。谷崎潤一郎氏に講演をお願いしたところ、講演せずに、雑談だけで、

ムに狙はれた。

富田 当時のきわだつた美人は誰方でしょう。

桑原 上野精一氏夫人でしょう。暗闇でも歩き方が違うのでよくわかつた。出色の婦人だつた。

丹羽 おきれいな方が多かつたです。

桑原 清瀬夫人もきれいだつた。外出には全部、平常着では外出しなかつた。

丹羽 宮下あき子夫人（今の藤原義江氏夫人）は美しい方であつた。おきれいすぎて問題となつたが、家出したのはその當時だつた。

富田 芦屋で家出された。音楽会に花束を持つてゆかれたりして藤原氏と結ばれた。

桑原 長唄の先生と妙な事になつた人もあつた。しかし、いろんなことがあつたにしても、現代の人に比べたらあの頃の方がまじだつた。

富田 日本的ですつかりとしていた。あかぬけがしていた。

◎文藝方面について

松岡 では文藝方面では……

丹羽 紫絃社つぶれた後に、高安夫人が「あららぎ」に入つて勉強をはじめた。「あららぎ」では高安夫人、紫絃社

この頃から、ゴルフが流行し始め、また一方六甲のホテルなどでダンスも華やかに行はれた。それから芦屋マダムの名が起つたのだと思います。

富田 阪神電車の乗客で服装の一段と立派な人は、たいてい芦屋人であつた。大體芦屋マダムと呼ばれ出したのは丸尾

長顯が「芦屋マダム」を主人公とした小説を書き、それから歪められた概念ができた。またその頃丁度起つた労働運動の影響から、階級的反感によつて有閑マダムという風印象づけられ、ジャーナリズムの目標になつた。

桑原 婦人公論の記者が乗り込んで來たりしてジャーナリズ

には與謝野晶子女史が昭和七年以後毎年芦屋に來られて私
の家にとまられた。晶子女史は芦屋を好まれたが、芦屋の
浜の歌は見当らない。

晶子女史のために歌碑を建ててゐることをお約束したが、市
長さんをお願いして是非実現したい。

松岡 高濱虚子の御曹子、高濱年尾氏は何時頃芦屋へこられ
ましたか。

桑原 戦争の半ば頃だったと思う。(現在月若町在住)

富田 碧梧堂氏は大正九年頃芦屋に住んでおられた。

桑原 皿井旭川(俳人)長谷川如是閑、鳥井楚川、谷本富氏
等も住んでいた。

◎「細雪」のモデルをめぐって

富田 谷崎潤一郎氏は芦屋に住んでおられた。夙川から岡本
へ——それから芦屋に來られ、それから魚崎に移られた。

——芦屋にはどれ位御住まいでしたでしょうか。

富田 一年か二年位住んでおられた。

——大体何時頃でしょうか。

富田 昭年十三年位であつたと思う。そうそう、水害の年の
五月だった。その後へ私が住んだ。

——細雪の小学校は大体どの学校をモデルにしたのでしょ
うか。

富田 宮川町に住んでいられたのであるから、宮川小学校を
指しているのでしょうか。

——細雪に出てゐる小学校に行つていられるお嬢さんは誰
方を指したのでしょうか。

丹羽 先生の奥様の連子を指している。

——細雪の水害の所、芦屋の辺りを背景として書いてあり
ますが、岡本の洋裁学院に通つていた方は誰方を指したの
でしょうか。

丹羽 先生の奥様の妹さんだと思うが。

——富田先生は何時頃から芦屋に御出でになりましたか。

富田 大正二年です。ボートをやつて肋膜炎になり、その静養
かたがた來た。第一詩集の原稿をもつて東京に帰つた。そ
の当時は海岸に家はなかつた。あの頃は氣樂だつた。

桑原 菊池幽芳も二十年位住んでおられて、小説の「小夜子」
もその時にできた。家も少かつたし魚岩というのが松林の
中に一軒あつたが、その後天竹ができた。(公光町)

富田 山村氏の近所に小さな風呂屋もあつた。医師では奥村
氏、のち岩崎医学士が開業、また富永先生が轉地して來て
開業、のち瀧川一等軍医が打出で開業した。

◎藝術家をめぐって

桑原 すいぶん前から、慶應出のインテリの長唄の師匠、吉

住小次郎先生が公光町に住んでおられる。

丹羽 舞踊では宇賀齒科医師の娘さんが上手だつた。

富田 宇賀夫人は美人投票で一等をとつたとか云われている。

桑原 琴では高木氏(大勾当)も住んでおられた。

丹羽 上野夫人は琴がお上手だつた。今でも御熱心です。

松岡 声樂家では——

桑原 現在では遠藤麿里さんが清水町に住んでおられる。ピ
アノでは佐藤氏が公光町に古くからいられる。

富田 吉田氏の娘さんも有名です。

丹羽 書道も熱心でした。

富田 島崎藤村の「春」に出てくる星野天知氏は大原町に今
なお御健在、八十に近いが元氣です。

桑原 南面では青木氏。

丹羽 もうなくなられたが岡田泰祥画伯も有名だつた。

桑原 公光町に住んでおられた。娘さんは最近まで市役所に
勤めていられた。川西町には小出楯重が住んでいた。(現
在、山崎隆夫氏が住む)

丹羽 湯川博士と一緒にの時に出ていた瀬崎春男先生と細見じ
んいつ先生は精道小学校で先生だつたことがある。

桑原 余技として絵をよくする人は多い。松代安太郎氏など
は有名である。

富田 須磨の關守の桑原さんひとつ。(爆笑)

◎現在の芦屋マダム

桑原 昔のことを忘れて浮薄になつた。悪口になるが氣拔け
状態ではないかと思う。

丹羽 然し、芦屋の婦人会は活躍していらつしやるじやあり
ませんか。

◎天下の精道校へと

丹羽 大正末期より昭和の始めにかけて、今でもですが、そ
の頃は父兄は教育に熱心だつた。特に、お母さん方は熱心
であつた。

桑原 先生方も非常に眞剣で成績もよかつた。

丹羽 父兄会は月に一回行われ、いろいろな行事が沢山催さ
れた。父兄会の時はお母さん方は紋付で行かれたので、東
京の学習院の父兄会のように盛大でした。

松岡 精道校出身の方の有名な人は。

桑原 井上富造氏の長男、白州次郎氏、伴野氏(三菱重役)

桑原 お婆さんばかり集めている感じがする。

丹羽 私もお婆さんですが(爆笑)現在の若い人は生活に追われて出にくいんじゃないでしょうか。

松岡 ロウケツ染を名士の夫人などが勉強しておられる様です。

富田 更紗染の先生が芦屋で活躍していたことがある。

丹羽 山手で三門里先生の一の弟子で工藝展の一等に入選した人がロウケツ染、更紗染をしていた。その頃は不正の末期でした。当時はお茶、お華も盛でした。

富田 今でも盛ん、茶華道協会がある。大原町の中川砂村先生中山文甫先生は古い未生流の家元です。婦人会長の廣瀬夫人はたしか温古流の家元ではないか。お茶では水田宗峯先生(裏千家)は芦屋でも古く、当時門下には名士の御夫人、御子様がいいた。

◎芦屋婦人はかくあるべし

松岡 未来の芦屋婦人はかくあるべきだ——という点について、富田先生一つ。

富田 厳密に言つて、文化都市芦屋ということはどうして、われるか。長い間疑問に思つていた。個人個人では立派な人も多いが、結集した力の表現(文化)は現在までのところ何もなかつた。一口に文化都市といつても何をどうつづけるか答えられない。ゆきかたはいろいろあるが、一つにまとめる組織、指導力が先決問題だと思ふ。文化の面に予算をたくさんつづはしい。

芦屋と業平——確実なる史料遺跡の微すべきものなきが故に、史実として述べることは不可能であるとしても、両者の関係は史実以上の信仰として郷土の者の心に活きて居るので



芦屋と業平 生田嘉作

ある。
□業平の父阿保親王は平城天皇の第三皇子に在まし、母伊都内親王は桓武天皇の女に在はし、父親王の奏請によつて、兄仲平、行平、守平と共に、在原の姓を賜わり、臣籍に列した

新年吟

橋本雪後

追羽子の鈴をならして受けにけり

羽子板や弁慶は眼の幸四郎

環海の國を出入や宝船

初鳥の翼染めたり茜空

礼受けや門を豊かに八文字

お降りや礼者を囲碁によび上ぐる

弾初や舌出し三番靱猿

高貴の種である。長兄の音人は母系を異にした中臣氏であつて大江姓を称し、後の文章博士匡房鎌倉の権臣廣元はその裔に出で毛利氏の祖である。

□芦屋は当時芦屋の里というて、東は夙川から西は石屋川、布引近くまでの地略、旧菟原郡一帯の地を称したらしく、其処は阿保親王の御領で打出に御館が有つたと傳えている。業平十八歳の時仁明天皇の承和九年父親王薨御母内親王は清和天皇の貞観三年業平三十七歳の時薨御、領地は兄行平が継承したと書いて居る史書もあるが、業平の館跡と称せられる地が、今の省線芦屋駅の南辺業平町附近と傳稱されて居るものがあるから、業平が此処を父亡き後領して居たとも推せられる。□さて、業平とはどの様の人か、昔から小町と併称せられて、美男麗女の代名詞となつて居る。華奢な優雅なやさ男を想像するのは近代的好尚の現われで、鎌倉時代似せ絵の名手として名高い信実筆旧佐竹侯藏最古の三十六歌仙絵の業平像を見ても、これはすつと後世の筆であるが、打出親王寺所藏毛利公寄進の阿保親王画像の風貌に似て、豊頬肥肉堂々たる体軀の持主であつたらうと想われ、阿保親王が人と爲り、才文武を兼ね、脊力あり絃歌をよくす、とある。父の風体を享けたる丈夫であることは、宇多天皇が未だ上達部であられた時帝の御椅子の前で業平と相撲で投げられて高欄を挫いたことが大鏡に記されて居り、又長良の女高子が五條の妃の許にあるのと私通し(高子十八歳業平三十五歳)て高子を伴れ出し、高子の兄基経國経等の追手に高子を奪還され、基経の爲に髻を切つて東國へ追い遣られた。これは良房等が高子を清和帝の女御として入内せしめんとしたのを、藤氏の権勢を抑えるためにその入内を妨げんための謀ごとという向きもあるがこ

の事を憚つて入内は数年遅れて高子廿五歳の時后宮に入り後陽成帝を生み奉つた。伊勢物語にはこの物語を記して

白玉か何ぞと人の問ひし時露と答へて消なましものをの絶唱あり、勢語中の圧巻と称されるが東國に漂泊して、足跡武藏、下総信濃、遠くは陸奥の國まで及んでいる。徳川末期の頃でさえ江戸長崎への旅立には、家族と水盃までして往つた位、況してや千年以上前の平安初期の交通未開荒涼たる東國、奥への長途の旅、

家には筒に盛る飯を草枕旅にしあれば柏の葉に盛ると謳われて宿の設けもない時代に、陸奥の果までの難行路を強健な体力と堅剛なる意志を有する者でなければ遂行し難いのを、漂泊の旅とは言え、この苦難をやり終したのは、後世に宣傳せらるる様な優男でなかつたことを思わしめるのである。そして内には燃ゆるがごとき熱血を激し、一面放縱不羈と見えて一面剛毅不屈、権威隆々たる藤氏の威望に抗し種々回策する処あつたものの如くであるが力足らず

思ふこと言はでぞ唯に止みぬべき我とひとしき人しなればの詠は胸裡に鬱屈する志を暗示する如くである。藤氏の出でなため、父帝の嘱望も却けられて帝儲を惟仁親王に譲つて貞觀十四年御歳廿九にして落飾、叡山の麓小野の里に世を果敢なく過される惟喬親王を雪中正月早々に訪い奉りて

忘れては夢かと思ふ思ひきや雪ふみわけて君を見むとはの悲歌を述べて居る。この時業平四十八歳この年攝政良房は薨じて居る。□ここで惟喬親王と関係ある業平の室のことに触れて見たい。業平の室は

風吹かば津津白浪龍田山夜半にや君か独りゆくらむと詠じて、業平の女通いをやめさせた。紀有常の娘で、惟喬親王の母は有常の父名虎の女靜子である。業平の室の妹が百人一首にある三十六歌仙の一人藤原敏行朝臣で能書であり秋來ぬと目にはさやかに見へねども風の音にぞおどろかれぬらぬ。

□紀氏の室の中には棟梁があり外に師尚、滋春、三條姫と号された女の四子がある。滋春は齋宮恬子内親王の出で、大和物語の作者である。恬子との恋には恋しくば來ても見よかし千早掛神のいさむる道ならなくに齋宮が忍んで往かれた朝 恬子より君や來し我や往きけむ思はえは夢か現か寢てか覚めてか業平返し

かきくらす心の暗に迷ひにき夢うつとはこよひ定めよの贈答の歌がある。業平は狩の使に伊勢へ下つた時に齋宮との間に恋愛關係を生じたのであつた。いよいよ伊勢を發つ最後の晩別離を惜んで齋宮から送つた歌の上の句 徒歩人のわたれど濡れぬえにしあればとあるに対して

また逢阪の関を越えなむと下の句を付けた。畏き神の禁を犯した悲恋で高子との恋に次での物語中の佳章である。□伊勢物語の文と業平の歌に就いては幾多の先賢が研鑽、鑑賞批評し盡された筈があるので、ここに蛇足を加える要はな

いが、勢語の文章は簡樸にして含蓄あり、然も豊かなる滋潤を持ち、不可謂至妙の境を示し同じ平安朝の文章として簡潔を以て名ある枕の草紙と比して、これは智的にして冷かに、彼は純情を吐露した多感熱情の讀者をして酔わしむるものがある。源語の文派もここに一道の通ずるものがあり、降つて西鶴の文章は江戸時代の勢語とも云うべきかと思う。□歌に至りては古今集の序に貫之が「心余りありて言葉足らず、萎める花の色なふして匂ひ残れるが如し」と評して居るが、当時の歌風が智的であり詞の技巧を弄した歌を重んずる風潮がある中に、直情を率直に彫琢を重ねず直感その儘を詠んだ業平の歌が貫之等の理解が至らなかつたため、その半面だけを評したものに過ぎず、業平の歌はその人と爲と共に現代にもつともつと吟味されて然るべきものと思う。□最後に業平が近衛中将の頃、來合わせた衛府の督と共に、芦屋の館より前の海辺に遊び歩き、山の上の布引瀧を見て浪登り、還り路遠く夜に入りて家へ帰つたが、南の風吹きて浪高く、翌朝家の女の子供が浜で浮海松のより揚りたるを拾うて帰り、その海松を高杯に盛り柏を覆うて出したその葉にかくなむ

わだつ海のかざしにさすといはふ瀧も君がためには惜しまざりけり□田舎人の歌にては余れりや足らずや」と業平が言い添えて居るから、芦屋の里女が詠んだものである。千年前の里人はかかる風懐を持つて居た。今日の芦屋マダム、令女の教養は千年の歲月に飛躍的に高揚して居るものと見たい。□業平は淳和天皇の天長二年に生れ、陽成天皇の元慶四年五月廿八日薨去五十六歳で官は右近衛中将から藏人頭に任ぜられ美濃權守を兼ねて居た。今茲から遡つて一千七十年になる。

あしや 第四號目次

表紙絵・扉絵……………柴谷幸二郎	意義ふかき年の始めに……………猿丸市長…1
今年こそは経済振興・文化昂揚の年……………	岸田兵庫縣知事……………2
芦屋の名所を探る……………早野豪氣……………4	住みよい芦屋市を建設……………丹原助役……………10
芦屋あれこれ(講談會記録)……………富田碎花ほか……………11	新 年 吟……………橋本雪後……………16
芦屋と業平……………生田嘉作……………17	一九五〇年の選挙展望……………佐々木選管委員長……………20
あなたは投票されましたか?……………選挙管理委員会……………21	かわいい一年生(人學のしおり)……………村上學務課長……………22
愛の贈りもの……………厚生課……………23	希望のとびら……………衛生課……………23
年齢の敷え方と主食配給について……………	経 済 課……………25
漏水修理に努力……………水道課……………25	市町村税制改革第八次試案概要……………
編集後記……………	税 務 課……………26
	28

芦屋市選挙管理委員会委員長

佐々木清次

吾人本年の最高希望は講和條約の成立である。講和條約の成立は素より國際情勢の推移如何に係るは勿論なるも、是れを促進せしむるには政治の民主化と経済の自立化に吾人の努力を結集してその実を挙げ、連合國をして理解認識せしむるに在る。而して政治の民主化即ち民主憲法に基く代議政体の確立は先ず選挙に始まる。人民の自由意思を表明する投票こそ民主國家の基盤となるものである。

選挙は一人の棄権も無く有権者皆揃うて投票の義務を果すべきである。即ち選挙の完全遂行は民主國家の確立であり政治の民主化である。これが連合國に反映してその理解と認識を深める事は即ち講和條約の成立に一步を進めるものである。事を牢记して選挙毎に投票の義務を盡すべきである。

本年は六月に参議院議員通常選挙があり、十月に縣教育委員会は六月に参議院議員通常選挙と共に最高議決機関にして平和新日本建設に当り内治外交百般の政治並に法律を議決する処である。是れを身近の例に探ると吾人の日常生活の根本に深刻なる影響を及ぼすから、吾人の生活をより良くせむと欲するならば、その自由意思による清き一票を強く正しき候補者に投票せられたい。吾人の立派な代表者を参議院議員に選出せられたい。

また教育委員会は教育行政の執行機關にして旧來の諮問機

化都市芦屋として洵に遺憾に堪えない。一九五〇年の選挙には有権者一人も棄権せず清く正しく投票して民主國家の人民

一月十二日に行われた参議院地方選出議員の補欠選挙は幸い好天氣に恵まれ無事終了したが、今回も嚴寒しかも正月早々の選挙のため、又参議院に対する一般國民の関心の低いことも影響しているとはいえ、市立中小学校、婦人会、日赤奉仕團、仲よし子供会、ボイスカウト等の熱心な棄権防止に

対する協力にもかゝらず全市の投票率四割三分一厘という低調であつた。尤も全縣下の平均が五割六厘、市部の三割二分六厘、九市中第四位という統計上からは必ずしも悪い方ではないが、文化都市、教育都市といわれている「あしや」の市民として、この数字は決して自慢に

なるものではない。以下選挙管理委員会の手許にある数字を掲げて市民各位の御批判と御反省とを願わしたい。

参議院議員補欠選挙の棄権率五割七分 あなたは投票されましたか

昭和二十五年一月十二日執行参議院議員補欠選挙投票率

Table with 2 columns: City Name and Voting Rate. Includes 市部 (Shibu) and 全縣 (Zenkou) categories.

関に非らず学校教育のみならず社会教育をも指導啓発する等頗る廣範圍に渉る執行機關であるから平和新日本建設に重大なる役割を担うものである。その選挙は慎重に考慮して人格識見高邁なる候補者に投票せられたい。

尚民主國家の人民は常に政治に関心を持ち新聞にラジオに講演に熱意を傾けて政党政派の良否と候補者の適否を研究する用意が望ましい。選挙に際し政党政派の良否候補者の適否不明を理由にして棄権する人は民主國家の人民としての資格ありやを疑うものである。棄権は無意識の中に不良候補者を利する結果を招くことを理解して下さい。選挙投票は民主國家人民に課せられたる最大なる義務であることを認識して下さい。

芦屋市に於ける最近の選挙投票率
市長選挙 (昭和廿三年九月廿八日執行) 六四・六%
縣教育委員選挙 (同) 年十月五日執行 四六・一%
農業調整委員選挙 (同) 年十一月三十日執行 八〇・七%
衆議院議員選挙 (同) 廿四年一月廿三日執行 七〇・一%
参議院議員補欠選挙 (同) 年六月十八日執行 三九・七%
參地委員選挙 (同) 年八月十八日執行 九一・〇%
参議院議員補欠選挙 (昭和廿五年一月十二日執行) 四三・二%
右記の如く選挙毎に斯く棄権者の多き事は天下の芦屋、文

芦屋市投票区別投票率表

Table with 3 columns: 投票区名 (Voting District Name), 投票率 (Voting Rate), 前選挙投票率 (Previous Election Voting Rate). Lists various districts like 第一投票所, 第二投票所, etc.

小学校

新入学のしおり

各課だより

学務課長 村上邦雄

一、ほくも、わたしも、学校へ

あたたかい春の四月になると、永い間待ちくたびれた小さいお子たちは、いよいよ「学校へ上る」のです。さぞうれいしいことでしょう。

○昭和十八年四月二日から

○同 十九年四月一日まで

に生れたお子達が、そのお子たちです。

二、どんな手続がいるか

一月の末に、市役所から「就学通知書」というしらせが、お宅へとききます。そこで

①就学履

そのしらせについている「就学履」という書類を切りはなし、いろいろ書き込んで、市役所の学務課へ、お届け願います。(郵送でも結構です)

②身体検査

もう一つ、「身体検査通知書」という

病弱、發育不完全、その他やむを得ない事情で、今年学校に上るところを来年以後にのばさなければならぬ事情にあるお子達については、医師の証明書等その事由を証するに足る書類をそえて市長に(市役所学務課まで)お届けください。

④通知書のとどかない方は

昭和十八年四月二日から同十九年四月一日までの間の生まれであるのに、就学通知書が、近所のお宅にはとどいて、御自身のお宅にはとどかないような方がありましたら、どうぞ、市役所の学務課までおいでください。それは、現在の御住所に寄留なさつておられないとか、配達もれとかいうときに、間々そういうことがあるのです。

三、どんな用意がいるか

いよいよお子さまを、学校へ上らせになるといえば、いろいろお心づかいなさることでしょう。

お子さまの心がまえやしつけ、どうぐのしたくなど、ことに、はじめてのお子さまを入学させる方は、親御の気のみ方も大いでございませんでし

よう。

くわしいことは、身体検査においてになつたときや、その前後に、それぞれの学校から申しあげますからどうぞよろしくねがいます。

ご本(教科書)は、学校でお揃えますし、学用品類も良質のものを御紹介する筈です。服装は質素にしましよ

「そんなことでは、学校へ行けませんよ。」

「そんなことでは、学校の先生に叱られますよ。」
「そんなことでは、学校の先生に叱られますよ。」
「そんなことでは、学校の先生に叱られますよ。」

四、どんなおへんきやうをするか

もう、ご承知と思いますが、このごろの学校のおへんきやうは、新しい教育の方法で、昔のやりかたとはだいぶちがっています。本を誦んだり、字を書いたり、数の勘定をしたりすることを、いそいで「教え込もう」としません。

遊んだり、話しあつたり、見てまわ

書類がついていますから、これを切りはなしして、それに書いてある日時

に、書いてある学校へ、その通知書を持って、お子達をお連れになつて、保護者又はその代理者が、おいでください。

もし、お子達が、病弱気などでその指定の日に身体検査をお受けになりにくいようなときは、そのことを、その日に、その学校へお知らせして、またの日に検査をお受けになるようにしてください。

なお、学校で、身体検査のほかに、簡単な「知能検査」を行うことがあります。それは「入学試験」といつた性質のものでなく、御入学後の指導をよくするための予備調査ですから、神経をお尖らせになりませんように。

③就学猶予扱

つたり、しごとをしたりしながら、進めていきます。

先生方のご意見をおききになつたり、学校のようすをごらんになつたりして、御理解と御協力をねがいます。

五、御入学おめでとう

新しい日本は教育から平和も文化も教育から

おむつのときから、育てたお子さまの、晴れの御入学です。よくぞ、ここまで、すこやかに育ちましたね。

さあ、入学式その日には、新生日本の日の丸の旗のあざやかな学校の門を、元氣におはいりください。心からお待ちしております。

愛の贈りもの

礼状多数到着

厚生課

○昨年六月海外引揚再開より十二月までに本市に帰還された一般邦人並に復員は左の通りです。

一般邦人 六名
復員 一七名
計 二三名

○十二月二十七日、二十八日の両日連

合軍の厚意により寄せられたララ物資、ユニセフ物資の配給を行うと共に歳末三大運動のうち本市において実施した愛の運動持寄り物資の衣料品、贈用品等合せて二、三二九点の暖い寄附を受けたので市内生活困窮世帯一八〇世帯に配給した。受配の各世帯より感謝と感激の礼状が多数到着致しました。

共同募金、目標額八五五、〇〇〇に対し各方面の御盡力と市民各位の御協力により、募金額八五六、〇〇〇円に達し目標額を完了した。

庶民住宅、打出翠ヶ丘町に建設の改良住宅五〇戸は十二月十六日竣功し、入居者を一般公開抽籤により決定の上入居を完了す。

希望のとびら

衛生課

明日の健康のために
多来りなば春遠からじー
持つて生れた結核なし
まり子 どうなされたの、健一さん。
何だか元氣がないわねえ。
健一 ふざけた話なんだよ。僕が肺病なんだときさ！ こないだ会社で集團

検診があつたらう？

僕のレントゲン写真に何か変てこなカゲあるつて保健所のヤブ医者が言うんだぞうだ。

まり子 まあ失礼しちゃうわねえ。人もあるうに健一さんが肺病だなんて！

健一 全くさ。スポーツで鍛えたこの体だ。結核菌なんかにはこたえられるよなや。さ男とは少しばかり出来が遅うんだ。

まり子 ほんとだわ。それにお宅には別に肺病の血すじがあるわけでもあるまいし……

健一 とんでもない。体なら誰にだってまけない自信があるんだ。肺病だなんて人を馬鹿にするにもほどがあるよ。

結核菌太曰く

へへへおあいにく様、結核は家柄や血統とは関係なしだ。体格や栄養とも関係わねえや。野球の選手だろうと、水泳のチャンピオンだろうと俺様の知つたこつちやねえんだ。

赤ん坊だろうと、梅干ばばだろうと、肉体美人だろうと、青成びようたんだらうと、チャンスさえありや、一視同

仁にお見舞い申上げさあ。

へへへおあいにく様
一、結核になつても痛くも痒くもありせん。始めのうちは何も症状が出ないのが普通です。はたからの見かけや自分の感じでは分りません。普通のひととちつとも変りなく何でも出来ます。

一、お医者様に聴診器をあててもらつても胸をたたいてもらつてもよほど病気が進んでからでないと分らないことが多いのです。

一、レントゲン検査以外には病気の有無しを正確に知る方法は絶対にありません。(続く)

◎市民の皆様におねがい

衛生課では只今街路燈を整備中であります。ところが整備して行く後から電球がコワサレて居る処があるのです。電球を調べて見ますと故意にコワサレた跡が十分察知できるのです。一部の人の話によると空気銃やバチンコでコワサレつつあるようです。

夜道を明るくして皆様の歩行やどろぼう予防にと努めて居ますので、どうかこのようなイタズラをなさらないよう

うにおねがいします。電球一つ買うのも皆様の納められる市民税で買うことをここに付加しておきます。御協力の程をひたすらお願い申します。

◎小中学校児童生徒に対する結核予防接種について

芦屋市が先般厚生省より結核予防特別市に制定されましたのでこの特別市の事業としてこの程BCG乾燥ワクチンが特配されましたので市内小中学校児童生徒全員に対してツベルクリン反応注射を行い、BCGを接種し結核予防の一端を実施致します。

◎デフテリア予防について

デフテリアの発生期でありますから乳幼児をお持ちの方は充分注意して下さい。昭和二十四年度のデフテリア予防接種が大変遅れていますが厚生省より配給のあり次第実施致します。

◎昭和二十四年中の芦屋市の傳染病発生状況

左記の通りで昭和二十三年に比して約二割の減少を見ましたが、これは市民各位が市の防疫事業への御協力の結果で今年も市の諸事業に大いに御協力下さるようお願い致します。

ます。

昭和二十四年中傳染病発生状況

病 別	発生数	全治数
腸チフス	三	三
パラチフス	一	一
デフテリア	一〇	一〇
猩紅熱	二	二
発疹チフス(疑似)	一	一
流行性脳炎(タ)	一	一
計	一八	一八

◎妊産婦の保健指導

「母親学級」について

連合軍総司令部公衆衛生福祉部看護課ミス・マチンの直接指導を受けた全国の助産婦代表が、それぞれ各縣に帰つて縣下各地の代表的助産婦に授人講し、受講者が各市町村の一般家庭婦を対象に開講という手順になつております。

当市では昭和二十四年八月の開講以來毎週木曜日の午後を「母親学級」にあてて、今日迄に第六回目を重ねるに到つております。

講師は助産婦会長野口よね氏、大塚いく代氏、大野彌江氏、その他助産婦会員の熱心な方達により單なる口傳えの講義の形式ではなく、実演を加えた實際教育であり、受講者側よりの質問も多くなかなか活氣のある有意義な集いで、その成果と妊産婦及出生児に対する今後の保健には大いなる成績を修めることと期待して居ります。

漏水修理に努力

水道課

昨年末より今年にかけて連日の天候不順と、市直営の工事が色々重複したために、近ごろ修繕を申込まれた方々に御迷惑をかけた向もあり、申訳ないことと思つて居ります。

又、水道管に附属している器具も略々耐用年限に達してきたため路面の漏水も増す傾向にありますので、修理に鋭意努力して居ります。尚、御氣附の箇処は何卒水道課まで御連絡下さい。

家庭漏水については、いつも御協力を願ひ感謝致して居ります。この度、

塩素に強い合成樹脂製のバツキングを試験的に購入致しました。ゴム製バツキングと比較して若し良ければ全面的に採用の予定です。御希望の方は御申出願います。

他物の物價に比べて日々使用する水道の料金は大変安値です。水道料金の告知書が届きましたら、期限におくれぬ様御納め下さい。滞納は事務を倍加させます。

年令の数え方と主食配給について

経済課

○昭和二十五年一月一日から年令の数え方が今までの数え年から満にかかわることになりました。

○満年令計算による主食家庭配給基準量は左記の通りです。

○誕生日が来て主食配給基準量のかかる人は、誕生日の前日に主食購入通帳と印かんを持参の上、区域出張所経済課分室で主食配給基準量の切換の申告をして下さい。

主要食糧配給基準量(一人一日当り)

年令区分	配給量	出生期	期間
〇才一才	二二〇グラム	昭和三二・二から昭三五・二の間に出生した人	
二才一才	二七〇	昭二〇・二から昭三二・二の	
五才一才	三三〇	昭一六・二から昭二〇・二	
九才一才	四〇〇	昭一・二から昭一六・二	
一四才一才	四〇五	大四一・二から昭一・二	
二五才一才	三八五	明三三・二から大四一・二	
六〇才以上	三三〇	明三二・二以前	
婦	七〇	(昭和二十五年一月一日を基準とした)	

◎御注意 申告がないと配給量切換が出来ません。申告をお忘れにならないよう、誕生日の前日に二十五才及六十才以上の方はお忘れになると発見の日で一時に配給量が差引かれますから特に御注意下さい。

市町村税制改革

第八次試算概要

稅務課

市長の年頭の辞にもあつた通り皆ながスクラム組んで横の連絡を密にして、もつて一局一室、一課にとられず、一事業については全廳一丸となつて事業の完遂に努力して行くべき体制を整えねばなりません。

当稅務課と致しましては與えられませんでした財源は完全に徴收致しまして、市の歳入に欠陥を生ぜしめない事に留意する考へて御座います。
 本年は特に稅制の根本的改正によりまして徵稅事務は愈々困難が予想されますので、市民生活に適合した賦課方法を樹立、與えられた收入の確保に万全を期したいものと念願致して居ります。

市民の声を聴く

打出出張所の集い

十二月九日午後一時三十分打出出張所で行出区域の市民代表と共に懇談会を開催。土居出張所長挨拶、出席者の紹介のち左の話題につき熱心な意見

問題点

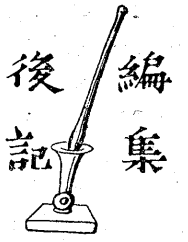
前回迄の案

修正案

問題点	前回迄の案	修正案
一、地方所得稅	地方所得稅	市町村民稅
1. 名	四〇〇、五〇〇、六〇〇	個人四〇〇、六〇〇、八〇〇
2. 均	所得稅の一五%	所得稅の一八%
3. 所得割の標準率	三種の選択	所得稅割
4. 所得割賦課方法	當該年度の所得を源泉徵收の方法	前年度分による賦課課稅
5. 賦課方法	固定資産稅	固定資産稅
1. 名	船舶、船、ダム、鐵道	除外せず
2. 課稅客體	車、除、住宅、家屋は賃賃價格の一、〇〇〇倍	八〇〇倍
3. 課稅標準	土地は四月一日家屋は五月一日その他は六月一日	四月一日
4. 賦課期	一、七〇%を標準率とする	運用において嚴格に規制する
5. 課稅除	專賣公社、日本國有鐵道に課稅せず	前案通り
6. 課稅除	土地、家屋、その他毎	前案通り
7. 免稅	昭和二五年一月一日	昭和二五年三月一日
1. 入	昭和二五年一月一日より減稅	昭和二五年三月一日より改正
2. 電	電氣稅は府縣稅	前案通り
3. 自	ガス稅は市町村稅	前案通り
4. 入	取得稅は府縣稅	前案通り
5. 入	府縣稅	前案通り

話題

○現在出張所の勤務状態並びに公僕としての窓口サービス
 本廳及他町村よりも親切である(村上氏外数名の声)
 ○揭示板の修理増設を要望・その他



今月は
知事さん
の玉稿と
菅屋浜を
讀める俳
句を載さ
紙面を飾ることが出来てうれしかった。
厚く謝意を表します。

早野臺氣先生を煩はして、菅屋の名
所を探った。彫心鑲骨の玉稿は、この
種論策の圧巻であり、定本として推奨
するにやぶさかではない。紙面の都合
で、次号にわたることになった。まこ
とに惜しい気がするが、それだけ次号
を待つ楽しみがあるわけだ。御期待を
乞う。

富田碎花、桑原石居両先生と丹羽安
喜子夫人による「菅屋あれこれ」鼎談
会は菅屋の回顧であり、展望である。

この談話のなかに、文化村だった過去
の菅屋のすがたがほうふつとする。

「菅屋と業平」は、生田嘉作先生の
研究であるが、美男といわれる業平が
ただの美男型ではなくて、豊頬肥肉、
力衆にすぐれた美丈夫であることが判
つて微笑ましい。柴谷画伯の業平画像
は、古文献を参考に描いた想像図
であるが、なお外によりよき文献を御
提供ねがえることが出来たらありがた
い。

表紙うらの頌春の二句は、猿丸市長
の作。「大初日」は山を詠い「新
汐に」は、ヨットハーバーを夢に
描いた句で、モニタージュの写真と共
に観光菅屋をシンボライズしたもの。
御玩味ねがいたい。

「住みよい菅屋市を建設」は丹原助
役が今年度の実現したい施策について、

熱意を傾けておられる。私共も助役の熱
情にはうたれる。助役の念願の一日も早
く達成されるように祈るものだ。

前号で茶飲み友達に触れたところ、婦
人側の申込みが殺到しているが、男性側
は少ない。今後、男性も女性におとらず
お知らせ願えたらありがたい。(松岡生)

あしや 第四号

頒價 十円 送料六円
隔月発行 送料共一年分九十六円
昭和二十五年二月十日印刷
昭和二十五年二月十五日発行
編集人 松岡正夫
発行人 猿丸吉左エ門
京都府中京區壬生井町三
印刷所 日本写真印刷株式会社
菅屋市精道町九三
発行所 菅屋市役所

高橋産婦人科病院

院長 高橋秀吾

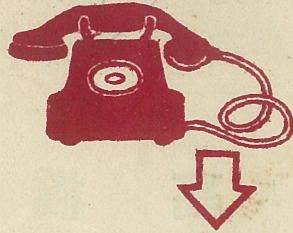
一番〇番七番
二三五四七〇
四一六七八〇
年一三六八
豊三所小二
林宮産出屋
瓦西市打屋
宮西宮市芦
西電話西屋
院電西電話
本分自

内科放射線科

打出濱病院

院長 長橋正道

阪神本線打出停留所南へ下ル三丁



電話で用の足せる店

すぐお手許まで

有限
会社

柏井紙文具店

芦屋市松ノ内町九九
(省線芦屋驛北驛前通り)
電話五一三四番

昭和廿五年二月十五日印刷
昭和廿五年二月十五日發行

芦屋市公報 あしや 第四號

頒價拾円